

言葉から読み解く ジェンダー構造

言語実践に見える性差とは？

近年グローバル化の進展にともない、外来語や翻訳をめぐる言語とジェンダーの問題が注目されています。本講演会では、翻訳実践が日本と外国のジェンダー言説をどのようにつなぎ直すかを探るとともに、英語教育の現場における言語とジェンダー・イデオロギー、とりわけ女性に偏りがちな感情労働の問題にも焦点を当てます。こうした具体的な事例を通して、言語とジェンダーの相互作用に潜む矛盾や対立を明らかにし、包括的で公平な社会の実現に向けた展望を提示します。

中村桃子 関東学院大学名誉教授

翻訳がつなげる日本と外国のジェンダー

細川尚子 東京理科大学准教授

外来語とジェンダーケーススタディとしての「フェミニスト」

Jinsuk Yang (楊眞淑) 大阪公立大学准教授

English teaching as gendered care work: The case of female bilingual speakers in Korea

(「ジェンダー化されたケアワークとしての英語教育－韓国における女性バイリンガル話者の事例から」)*英語による講演、日本語資料付き

対面とオンラインのハイブリッド開催 (Zoom利用)

参加費 無料

会場 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス B1棟1F第1講義室
アクセスマップ: <https://www.omu.ac.jp/about/campus/nakamozu/>

申込方法 女性学研究センターウェブサイト、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

定員 対面 60名 オンライン 150名 (先着順)
(定員に達し次第、申込締切前であっても受付終了とさせていただきます。)

申込締切 2025年10月22日(水) 17時

お問合せ先 女性学研究センター

Zoomのアドレスを10月23日(木)にお知らせいたします。この日にメールが届かない場合、10月24日(金)16時までに女性学研究センター (www.omu.ac.jp/ssss/cws/) にご連絡ください。

コーディネーター: 楊眞淑 (大阪公立大学)

10/25
14:00-17:00
SATURDAY
対面受付開始13:30

